

1. 議事日程（平成28年第2回北広島町議会定例会）

平成28年6月16日
午前10時開議
於 議 場

日程第1 一般質問

一般質問

《参考》

柿原 徳 則 財政健全度指標について問う
蔵 升 芳 信 遊び場創生プロジェクトの計画づくりは
主要幹線道路整備の進捗状況は
観光振興対策で芸北地域を西の軽井沢へ
伊 藤 久 幸 東京五輪文化プログラムへの参加は
スポーツ施設の改修は
田 村 忠 紘 再出発した豊平病院の現状は
久茂谷 美保之 「おいでよ！キタひろ」について

2. 出席議員は次のとおりである。

1 番 真 倉 和 之	2 番 中 田 節 雄	3 番 久茂谷 美保之
4 番 藤 堂 修 壮	5 番 梅 尾 泰 文	6 番 森 脇 誠 悟
7 番 柿 原 徳 則	8 番 室 坂 光 治	9 番 中 村 勝 義
10 番 伊 藤 久 幸	12 番 藤 井 勝 丸	13 番 蔵 升 芳 信
14 番 田 村 忠 紘	15 番 美 濃 孝 二	16 番 大 林 正 行
17 番 宮 本 裕 之		

3. 欠席議員は次のとおりである。

11 番 浜 田 芳 晴

4. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町 長 箕 野 博 司	副 町 長 空 田 賢 治	教 育 長 池 田 庄 策
芸北支所長 成 瀬 哲 彦	大朝支所長 清 水 繁 昭	豊平支所長 多 川 信 之
危機管理監 五反田 孝	総務課長 古 川 達 也	財政課長 信 上 英 昭
企画課長 畑 田 正 法	税務課長 西 村 豊	福祉課長 清 見 宣 正
保健課長 福 田 さちえ	農林課長 藤 浦 直 人	商工観光課長補佐 沼 田 真 路
建設課長 砂 田 寿 紀	町民課長 坂 本 伸 次	上下水道課長 浅 黄 隆 文
消 防 長 田 辺 弘 司	学校教育課長 石 坪 隆 雄	生涯学習課長 佐々木 直 彦
会計管理者 畑 田 朱 美	国土調査事務所長 林 秀 治	

5. 職務のため議場に出席した事務局職員

議会事務局長 松浦 誠 議会事務局 田辺 五月

~~~~~ ○ ~~~~~

午 前 10時 00分 開 議

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（加計雅章） おはようございます。ただいまの出席議員は17名です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。本日は、昨日に引き続き一般質問を行います。質問時間は30分です。質問者及び答弁者は、マイクを正面に向けて簡潔に行ってください。7番、柿原議員の発言を許します。

○7番（柿原徳則） 7番、柿原徳則です。さきに一般質問書で通告しております課題について質問させていただきます。26年度の決算も終わって、行革大綱の計画どおりに実績、あるいは改善方向に進んでいるということで、執行部の皆さんの努力の賜物というふうに思っております。がしかし、その中で課題、問題点も山積しているのではないかというように思っています。それで、一応今お手元にお配りしてありますけども、グラフを2枚渡しているんですけども、まずこれを見ていただきたいと思っておりますけども、これは財政分析表の項目7項目についてグラフ化しているんですけども、これについて説明したいと思います。このグラフは、縦軸がパーセントで、横軸が年度でございます。将来負担の状況でございますけども、21年度、184が26年では96ということで半減しているわけです。非常に成果を出しているという、効果が上がっているということがいえます。財政構造の弾力性、あるいは、公債費負担の状況、それから右側の人件費・物件費の状況・定員管理の状況示しておりますけども、将来負担の状況除いて、ほとんど横ばいというように私は判断しているわけですけども、もう少しカーブが下がり傾向にあるべきじゃないかなというように気がしているんですけども、これはいろいろ事情があると思うんですけども、後でまた質問しますけども、そういう状況でございまして、このグラフには、プロットしただけであって、これ目標値が入ってません。判断としては、今言ったようなことしか判断できないはずなんです。それが一つ問題かなというふうに思っております。もう一つは、疑問に思うのは、財政が非常に厳しいと言われる中で、将来負担の状況のように、下がっていくのであればいいんですけども、横ばい状況という状況になっておりますので、そういう点では、その行革の目標が甘いのかなというように感じがしております。私はそういうように感じたんですけども、町民の方はどう思うかということですけども、こういうグラフが横ばいばかりになってますと、行政の方は何やっているんだということを言われる方もおると思います。それは、それぞれ個人によって判断違うと思うんですけども、決してこれが行政の方が一生懸命日夜頑張っていると、実際には頑張っているんでしょうけども、その成果として出てないという判断をされるんじゃないかというように気がするわけです。そこで、まず質問でございまして、どなたでも結構なんですけど、私がそういうグラフを見て、思ったことを言ったんですけども、どなたかこのグラフを見て、意見をいただきたいと思っております。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） それでは財政課のほうからご答弁を申し上げます。まず、1点目のご質問でございますけれども、資料等をご提出いただいておりますけれども、このグラフ等は、総務省の調査であります市町村財政比較分析表の7指標に基づくものであるというふうに思っております。この7指標につきましては、まず、財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率、人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額、人口1000人当たりの職員数、さらにラスパイレス指数の7項目につきまして、類似団体の平均値との比較を多角形のグラフに示したものの、つまりレーダーチャート等にされたものというご質問というふうにご受けとめております。本町のこの数値につきましては、財政力指数以外は、いずれの指標におきましても、類似団体の平均値を上回っております。とりわけ将来負担比率、実質公債比率、人口1人当たりの人件費・物件費が類似団体と比較し、高い傾向にあります。この原因としましては、地方債残高が減少しているとはいえ、類似団体と比べ比較的多いこと、それから人件費・物件費が高いことにつきましては、消防業務を町単独で運営していることや、本町が広大な面積を有しており、支所の充実を図っていることなどから、主な要因であると分析をしております。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） 一つお聞きしたいのは、将来負担の状況、21年184ですね。26年が96ということで、急激にダウンしとるんですけども、これについては、当初の予定どおりなのか、あるいは、そういう何かいい風が吹いてこういうふうになったのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） ご質問の7指標のうち、将来負担比率について再質問でございますけれども、将来負担比率につきましては、この比率を出すもとなる数字が地方債の現在高、それから予算書のほうにも掲載をしておりますけれども、債務負担行為と申しまして、将来にわたって負担を強いられておる額、これの割合を示すものでございます。主なものは、今申し上げましたように、地方債の残高ということにあります。ここ数年の全国的な傾向にもございまして、財政状況が非常に厳しいということもあります。毎年の起債発行額を制限をかけておるということもございまして、基本的には、その年度の起債の発行額は、その年の償還額より抑えるということを目指しております。その効果もあって、その残高等も下がってきておるということで、数字的には良好なほうに傾いておるという状況にございます。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） もう一つお聞きしたいのは、今の将来負担の状況以外、大体横ばいの状況になつとるんですが、例えば行革の数値目標に対して努力されているんですけども、そうすると、例えば年度ごとに結果に対して反省なり、PDCAを回していると思うんですけども、例えば片せそうであれば、途中年度でも目標値を変えていくとかいうようなことをやっていくのが普通だろうと思うんですけども、多分恐らくこれはそういうことやってないんじゃないかなというように思うんですけども、いかがでしょうか。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） 将来負担比率ということで、先ほどもご答弁申し上げましたとおり、起債の事業、具体には投資的事業をここ数年圧縮をしてきております。そのことにつきましては、

本町の歳出の財政規模が他の団体に比べ大きいということがまず1点あります。先ほどご答弁させていただきましたように、プライマリーバランスを基本に地方債の発行を抑制しておるといいう取り組みを進めておるところでございます。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） それはわかるんですが、そうじゃなくて、例えば財政構造の弾力性を見ても、97.2から88.9ということで、非常にずっと下がりぎみにきているんだけど、もうちょっと私が思うのは、山高があってもいいんじゃないかと思うんですけども、そういう状況になってないということで、今の行革の目標値を達成したから、あるいはマイナスのときもあると思うんですね。そのときに是正をするはずなんで、そういう実績に対しての是正とか、そういうことをやられているかどうか、やってないんじゃないかというような気がしたんで、私が今そういう質問なんですけど、私がしたのは。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） 今の議員のご質問は、財政の弾力性という項目になろうかと思ひまして、具体には経常収支比率ということになります。経常収支比率のもとになる数値が、人件費、物件費、維持補修費が基本になろうかと思ひます。冒頭にもお答えをさせていただきましたように、本町が広大な面積を有しておるといいうこと、それから支所を3地域に有しておる、消防も出張所を有しておるといいうことで、行革等の取り組みは推し進めてきておりますけれども、この数値にしたときに、大幅な縮減といいうところまでは現実的にはいかないのではないかといいうふうに思っております。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） ちょっとこれ、話それるかもわかりませんが、行革を立てられたときの目標数値が私はもうちょっと厳しく、あるいは、こいう財政厳しい状況といいうことを知りながら、甘いんじゃないかといいうふうに、目標値がこいうふうに思ひますが、町長、その点についてはどうなんでしょうか。

○議長（加計雅章） 町長。

○町長（箕野博司） 行財政改革、いろいろな側面から進めておるわけでありまして、先ほど担当課長のほうからも申し上げましたが、支所の関係、当町が抱えておるエリア、面積が広いといいう部分で、合理的な行政事務がなかなか進めにくいといいう部分が1点はあろうと思ひますし、消防の事務組合でやっておられるところのほうで、この類似団体では多いといいうことで、消防の人数が他の類似団体では入っていないところが多いといいうところが大きな原因であります。本町といたしましても、当然行革進めてまいりたいといいうふうに思ひますが、町民へのサービスの部分も鑑みながら、行革を進めていくといいうことになっていこうと思ひしております。その辺、昨日来、協働のまちづくり、いろいろ町民の皆さんと一緒に進めていくといいう取り組みをこれから展開していきたいといいうふうに考へておりますけども、こいういった形で、ある程度職員数も減じていきたいといいうふうに思ひますが、集落担当とかいいうのをまたつけるといいうことになれば、逆に増えていくといいうことになりますので、その辺をいろいろ検討しながら、これからも進めてまいりたいと思ひしております。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） もう1つのグラフを渡して思ひますが、これは26年度の北広島町財政分析表と書いておりますけども、これは今の7指標、26年度の類似団体の平均を10

0として、それじゃあ当町の実績はどうなんやということでグラフに表したもののなんですけども、赤い線に近づけば、類似団体に非常に近くなってくるということでございまして、そういう見方をしていただきたいと思っておりますけども、今、町長の話が出ましたけども、私、今までずっと過去質問してきた中で、定員管理の状況の中で、消防が入ってる入ってないということで、何遍もこういうやりとりしたはずなんですけども、今の国が例えばこの指標つくるときに、マニュアルみたいなものつくって出しているはずなんですけども、その中に消防は入るようになっているんですか、なっていないんですか、どっちなんですか。それお聞きしたい。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） 消防の関係でございまして、先ほど町長がご答弁させていただきましたように、類似団体は全国で30団体でございます。単独で運営している団体は、本町含め、類似団体中3団体のみでございます。ですから、それを外すとかいう指示等、総務省のほうからはございません。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） 30団体のうち3しか入っていないということで、非常にウエートとしては、我々から見たら、悪い状況になっているということですね。そういうことでいいんですよね。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） 先ほど、消防の関係でご答弁させていただきましたけれども、30団体のうち、単独で、消防のほうを運営しておる団体は3団体しかございません。ちなみに、この消防の経費を除いて人件費、それから物件費等をはじめてみれば、そんなに他の団体と比べて悪い数値は出てきてないという状況でございます。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） 定員管理の状況もそうなんです。ちょっと今の2枚目のグラフの右、職員数、7年間推移グラフというのがあると思いますけども、今、当町がはじいているのは、その一般行政部門と、それから消防、教育委員会入ったもので、定員管理状況、指数はじてますよね。いいですね、それで。これは総務からもらった資料なんで、間違いないと思いますけど。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） 人件費、それから定員管理の議員ご提出の資料の人件費・物件費の状況、それから定員管理の状況につきましては、消防の職員数、それから人件費・物件費は含んでおります。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） それではじきますと、今、26年度は14人という数値が出てくるんですが、今の消防を除きますと、今の類似団体と同じぐらいの数値になるんです。だから、先ほど来、類似団体の分は、消防入ってない、ウエートのほうは、そっちのほうに近似になると、当町のはじいたのがということになると思うんですけども、そういう見方をしなきゃならないということですね。今の定員管理の状況見る場合。だから、要は、消防が入ってるんだから、それをはじいて評価してくださいということでもいいわけですね。そういうことですね。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） この資料につきましては、総務省のほうから、7指標について、その計算の仕方とか指示がございまして、それをもってホームページ等々にも公表のほうさせていただきます。

いております。ですから、全ての数字においては、消防の person 費、それから経費等も含んでおる数字が公表のもとになっておるということでございます。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） そのとおりですが、だから、今の定員管理の状況を判断するのは、条件が違うというので、一番大きな条件、消防入ってるか入ってないかということですから、それを除いたものではじいたものが類似団体と非常に近い数値になるということですよ。それでいいんですね。

○議長（加計雅章） 財政課長。

○財政課長（信上英昭） 重複しますが、今の消防の職員、それから person 費・物件費等々を差し引きなものは、そんなに悪い数字というか、非常に差が開いているということではございません。以上です。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） 悪いとかいうふうに言うてないんですけども、それをはじいて評価をしてくれよということだろうと私は思うんですけども、そういうふうに理解します。次に移りますけども、今のレーダーチャートを見ていただきますと、この中で、非常に悪い数値、財政力、あるいは給与水準、財政構造の弾力性以外は非常に類似団体と離れるという、そういういろんなギャップもあると思いますけども、この中で、私が一番お願いしたいのは、やっぱり人を減らすということが一番大きな波及効果、ほかの項目についてもいろいろと波及していくんじゃないかということも思っています。以前お話ししたことがあると思いますけども、我々の会社も債務超過という状況になってリストラということでやりましたけども、そのときの人の効果が非常に生まれて、V字回復してきましたけども、そういう面から考えますと、人員というものを大なたを振ってでも下げていただきたいというふうに思います。今の2番目のグラフの7年間の推移グラフ見ていただきますと、これもまさしく、今の行政職員なんかは行革の数値の実効そのものだろうというふうに思っています。これがもっと下がれば、そういう財務のほうの状況もかなり上がってくるだろうというふうに思っています。臨時職については、これは途中いろんな政策的なこと増やしたということも聞いておりますし、あるいは、今の給食職員が臨時職に回ったということで、これは増えているだろうというふうに聞いております。が、しかし、やっぱり当町の財政を強くするためには、人を減らして体質を強くすることが必要でございまして、この人を減らすということが一番重要課題じゃないかと。その他、事務の効率化とか、いろんなことで合理化、あるいは改善することによって、その効果を上げるという必要はありますが、人の削減というのが一番効果を上げてくるだろうというふうに思っています。第2次行革で約40人ぐらいの定員減らしておりますけども、今度、長期総合計画立てるわけですけども、そこは大なた振ってでも、少なくとも、少しでも健全化へ持っていくための大なたを振っていただきたいというふうに思っております。一つお聞きしたいのは、今度長期総合計画に対して、一般職員部門の低減、削減、人数の削減、これをどのように考えているのかというのをちょっとお聞かせ願いたいというふうに思っています。

○議長（加計雅章） 総務課長。

○総務課長（古川達也） 職員数のご質問でございますので、総務課のほうから答弁させていただきます。これまで第1次の行政改革削減計画が40名に対しまして43名の減、第2次、平成26年まででございますが、第2次は30名の計画に対して38名といった削減を行っております。

ます。平成27年度につきましては4人、28年4人ということで、第2次の継続という形で今行っておりますけれども、それに対しまして、平成27年度で既に12名の削減といった形に今なっております。これからということでございますけれども、これからにつきましては、平成29年度からの第3次の行政改革の中で、数値等については検討していきたいと思っております。ですが、この人数の定数の削減は事務業務の見直しとセットになっておると考えておりますので、その見直しも含めて、適正な定数の管理をしていきたいというふうに考えております。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） いろんな今やっておる業務以外に新しく入る業務もあると思うんです。それはそれで、増員要因として上げればいいと思うんですけども、しかし、私は経験言うちゃいけないけども、リストラしたときに120人ぐらいたんですけども、600人が120人減った。120人減っても仕事はどうか回るんですよ。そういう私は経験したんですけども、実際には信じられないことが起こり得るということでございますので、そこらは、よほど業務の見直しも必要ですけども、業務のカットということも必要ですし、大胆にやってもいいんじゃないかというように思っております。今、それで、ちょっと長期総合計画にどれぐらいの人数を入れるかと思って聞いたんですけども、検討するということでございますけども、少なくとも、第2次行革以上の目標数値を入れていただきたいというように思っております。やっぱり町民の方も、こういう指標見ておられることはあると思いますけども、それを公に出すということで、比較する目標値をはっきり出していただいて、その数値を見たら、これは頑張っているのか、あるいは頑張りが足りないのかというような、わかるような、そういう明確に広報していただきたいなということ、例えば先ほど言いました定員管理の状況なんかでは、そういういろんなファクターがあって、一概に比較できないんだというようなこと言われてますけども、それはそういうことも必ずしも、全く一致するということは不可能でございますから、それはあって当然なんですけども、少なくともそれを見たらわかるような、一目で見てわかるように努力していただきたいというように思います。それでもう一つ聞きたいのは、今の7つの指標、これは今、先日の質問でありますけども、臨時制度を改めてそういうものの担当の目標を決めるようになってますけども、この項目がその町の目標になると思うんです。そうすると、おのおのがそれを全部自分で管理していくと、実績を把握していくことになると思うんです。そうすると、そういうものを我々の場合は、毎月月次報告というのがありまして、全部報告しておりますけども、当町においては、そういう実績、そういう報告会というようなものはあるんですか。業務の遂行に対しての実績報告会、あるいは途中報告会、そういう報告する場所、機会はありますか。

○議長（加計雅章） 総務課長。

○総務課長（古川達也） 実績の報告会というものは行っておりませんが、先日も答弁させていただきましたように、目標申告、今は目標の申告をいたしまして、そのヒアリングを行っておりますけれども、当然、その進行管理についてのヒアリングというのは行っております。また、毎月の管理職の会議でありますとか、そういった中では業務の進行状況等の報告は行っております。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） 基本的にはないということなんですけども、町長どうですか。例えば月次、

各部門の実績、仕事の評価ですね。そういうことをチェックする機能を私は設けるべきだろうというふうに思うんです。私が勤めていた会社では、朝のミーティング、毎日朝礼もありました。部課長集まって報告会がありました。月次では、そういう実績報告、実績に対して、いろいろとアドバイス受れたり、あるいは叱りを受けたりするんですけども、そういう機会を設けてあったんですけども、当町も、そういう面では、先日来いろんなフォローもできてないということで、不祥事も出てますけども、そういう場で、そういうことをフォローできるような形にしたらどうなんでしょうか。

○議長（加計雅章） 町長。

○町長（箕野博司） 先ほど総務課長のほうからも申しましたが、今までも全くなかったということじゃないわけでありまして、今年度は特に目標管理ということでしてありますので、その途中の状況報告なり検討、これは当然やっていきたいというふうに思っておりますし、月次の管理職の会議でも、それはしていくということで、これまでもある程度はやっておりまして、明瞭に今年度はできるだろうというふうに思っております。ただ、先ほどありました、このレーダーチャート等へ載っておるような数値については、年間の目標を決めて、そういう形で予算組み等もしていきますので、その段階で、ある程度クリアできるような仕組みになっておるといえることになると思います。

○議長（加計雅章） 柿原議員。

○7番（柿原徳則） 前向きに検討していくということでございますけども、長期総合計画にはぜひとも大なた振っていただきたいと。大胆かつ詳細にもやらなきゃいけないんですけども、振っていただいて、少しでも財政の健全化が早期に進むよう、健全化になるよう期待して、私の質問終わります。以上でございます。ありがとうございます。

○議長（加計雅章） これで柿原議員の質問を終わります。暫時休憩をいたします。10時50分より再開をいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前 10時 38分 休憩

午前 10時 50分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（加計雅章） 休憩前に引き続き、一般質問を続けます。次に、13番、蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 13番、蔵升でございます。既に通告をいたしております3件、遊び場創生プロジェクト計画づくりはということと、主要幹線道路整備の進捗状況、そして、最後に観光振興対策で芸北地域を西の軽井沢にということでお聞きをいたします。いずれも、これまでに質問を行ってきた内容で、重複するものでありますけども、これまでに検討しますと、あるいは取り組んでまいりますというような回答をいただいたものでございますので、その進捗状況なり、取り組み状況をお伺いをいたすものでございます。それでは、まず、1点目から質問させていただきますけども、遊び場創生プロジェクトの計画づくりはということでございます。

2月に編成されました市内のプロジェクトチームによる遊び場提供、各施設への遊具の設置、あるいは児童公園整備等でございます。それと遊び方の提供ということで、遊びのメニュー提供や各団体への働きかけの取り組みを行うということで、2月に発足したプロジェクトチームでございますけども、今月の行政報告を見させていただきますと、既に具体的に取り組みがされておまして、福富、あるいは戸河内、そこらあたりの遊園地を見てくるとか、一般町民の方、保護者の方の意見聴取も行ったということが書かれてございました。そして、これらをもとに、7月には遊び場創生プランの策定を行うということが行政報告に書いてございました。この取り組み状況及び成果がいかげなものかということをまずお聞きをいたすものでございます。特に私が気にしているのは遊び場の整備、以前から言ってるのが、舞ロードIC千代田、または薬師公園の整備等いろいろこれまでも質問してきたんですけども、特に気になりますのが、このプロジェクトチーム、福祉課のほうで立ち上げられて、お世話をいただいているんだと思うんですけども、これまで質問行ってきた中では、舞ロードIC千代田の関係で話をしてきたものですから、商工観光課の答弁をほとんど聞いてきたような気がするんです。遊び場をつくってくださいという話では。福祉課でいくと、子育て支援の立場から取り組んでますよと。まちづくり全体になると、今度企画課の担当だということで、一体全体どこが窓口がわからないんで質問先が難しいんですけども、本日は特に福祉課で取り組んでおられます市内のプロジェクトチームの取り組みを主体に、明るい展望を開けているんかどうかという見通しを含めてご答弁をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○議長（加計雅章） 福祉課長。

○福祉課長（清見宣正） それでは、遊び場創生プロジェクトの件につきまして、福祉課からお答えをさせていただきます。子育て世代の職員を中心にして編成しました遊び場創生プロジェクトチームにおいては、3月からこれまで町内各地域の公園等の現地踏査、それから町外の公園等の視察、また、町民からの意見を聞くために、各地域にあります子育て支援センターを利用しておられる保護者の皆さんからの意見聴取、アンケート調査等々を実施しております。これをもとに遊び場創生の提案へ向けて現在取り組んでいるところでございます。今月中にはプロジェクトチームによります現状分析・結果報告と、遊びの創生へ向けての提案を町長へする予定となっております。その提案をもとに今後遊び場創生プラン策定へ向けて取り組んでまいります予定となっております。以上です。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 視察なり、こうして保護者の意見を聞かれたということで、その内容、7月いうたらすぐなんですけども、もう取りまとめ段階かなと思ったりします。私が先ほども言いましたように、気にするのは遊び場の整備ということで常に言うわけですけども、この遊び場整備に取り組む部署ということは、いかがな場所でやられるのかなと。例えば道の駅舞ロードICの緑の広場にやる場合、福祉課が担当か、商工観光課か、企画課か、ここらもちょっと質問するのに、先ほども言いましたように、どちらへ質問したらいいんかというのが言えないというのが一つあります。それと以前も質問しました薬師公園、ちょっと話が、今のとは飛びますけども、薬師公園を前に福祉課長が答弁されたとき、あそこを利用してくださいとあったことがあります。あそこは、いろいろ保護者からも聞きますけども、低木の植栽がずっと周りであって、子供たちが遊ぶのに目が離されんと、目が離れたら怖いんだと、子供がどこに行ったか見えんという、見通しの悪い場所なんです。これは他の議員も一般質問でされたことがあって、

そこは早急に対応しますと、以来、何年たったかしれませんが、いまだにそのままの状況であります。遊具の整備もしてほしいのもあるんですけども、その前に、本当親子で行って、あそこで自然に子供を遊ばされるというような環境づくりは、ぜひこれは早急に取り組んでいただきたいというふうに思いますが、とりあえず、今の薬師公園をどちらへ質問すればいいんか、薬師公園の管理はどちらか知りませんが、ご答弁願いたいと思います。

○議長（加計雅章） 建設課長。

○建設課長（砂田寿紀） 薬師公園の現状と、それから整備ということで、建設課のほうからご回答申し上げます。ご質問のとおり、薬師公園の低木等、それから藤棚もいろいろありまして、現在、大きな木もあるという状況で、非常に見通しが悪いという使用者の方からのお声は聞いておるところでございます。当公園につきましては、年間を通じてシルバーセンターに維持管理のほうは委託をして、草刈り等簡易なところはいただいております。ただ、現在もかなり樹木が大きくなって、うっそうとしているような状況もありまして、今年も職員が藤棚の刈り込みをしたというようなところでやっておるわけですが、今のシルバーセンター、それから職員の管理ということでは、もうなかなか追いついていけないような状況が今発生しております。もう思い切って、大々的な木の伐採をして、風通しのいい、見晴らしのいい公園にというように今思っております。ただ、伐採の時期でありますとか、経費的なものもございまして、今年度できればいいですが、もしくは何年かに分けて順次整備をしていくというような方向で取り組んでまいりたいと思っております。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） できるだけ低木の除去というのを早目に取り組んでいただきたいというふうに思います。今取り組まれております第2次北広島町の長期総合計画の策定に向けて、アンケート取られてと、これまでも他の議員も言っておられましたけども、その中に、40代の女性の意見として載っておりましたけども、そこをちょっと読ませていただきますと、せっかく土地や高速のインターがあるのだから、市内からでも来たくくなるような、三次や福留のような大型の公園があったらいいと思う。公園自体が少ないので、子供が遊ぶ場所が欲しい、という意見が載せてありました。こういう意見は逐次聞きます。公園整備の話になりますけども、こうした長期総合計画に載せて取り組むような内容でなしに、ご存じのように、隣の安芸太田町、インターの前にあります。隣の安芸高田市、土師ダムにあります。三次にもあります、福富にもあります。子育て環境整備をやる気があるのかないのかと。保護者たちが、先ほどの女性の意見と同じなんです。インターが近くて、広島からも来れるような施設をつかってほしい。ここらに実際に子供たちが遊ぶ場所がないと訴えられているんです。先般いただいた資料には、最近、町内の子供たちは、年間100人ぐらいいないんですけども、その3分の2が千代田地域に出生ということでありますけども、観光交流を目的にという、今の女性の意見でもありませんけども、そういう視点を踏まえたら、市内のほうからでも、遊園地に遊びに来て、道の駅で過ごして、周遊して帰られると。町内は町内で、子供たちが自然で遊べるという形をぜひ取り組んでほしい。先般も、私ごと言いますけども、毎週土曜日が保育園へ送りに行って、昼に迎えに行くのが役目です。じいちゃん、きょうはどどこへ連れてってと。子供が遊ぶおもちゃを売ってる店がないんです。この辺に。以前は八木にありました、八木がなくなって、おもちゃを買いにいくと、旧市内へ出ていくかというような形しかないんです。じゃあ、行くかというのが遊園地なんです。先般も戸河内も行きましたけども、本当、安芸太田町の方

でない方が、3世代が車に乗ってきて、30分、1時間遊んで帰られました。私もあそこで遊んで帰りましたけども、道の駅に寄って買い物して帰られるという形です。ここの舞ロードICもぜひそうしてほしいのは以前から言っております。当然グラウンドゴルフされるのも、今回も陳情が出てますけども、いいと思います。ただ、土日については、子供たちにも都市公園として、芝生広場として開放するべき、そして時間が過ごせる場所をぜひつくっていただきたい。今さっき言いました長期総合計画だって、今後10年の間には計画しましょうという内容じゃない、もう遅いぐらいなんです。子供たちは毎年毎年そういう、大体5歳ぐらいまでが利用するのが、その公園だと思うんですが、これまでないから、よその町へ行かざるを得ないと。こんな寂しい町へ定住促進をと一生懸命声をかけるんじゃないし、こういう環境があるし、よそから人がどんどん入ってこられますという環境づくりをやるべきだと。声を大にしましたけども、商工観光課長は、依然やりませんという答弁であります。でも、これを聞いておられる保護者の方たちは大変憤りを感じておられます。子育て支援という柱をもう少しこのプロジェクトチームに期待をするんですが、そういう方向性が若干でも匂いはあるかどうかというのを福祉課長に聞いてみます。プロジェクトチームの中で。

○議長（加計雅章） 福祉課長。

○福祉課長（清見宣正） プロジェクトチームへの取り組みにつきましては、まだ、中間報告も受けてない状況でございます。しかしながら、町民のご意見やアンケート調査の中にも、今、議員のおっしゃったことが多く含まれております。そうした意見を踏まえてプロジェクトチームのほうで提案をされると考えております。以上です。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 7月のプランができるのを楽しみに待っておりますので、よろしくお願ひします。次に移ります。主要幹線道路の整備の進捗状況、これもたびたび質問する内容であります。昨日も県道の40号、安佐豊平芸北線、他の議員が質問いたしました。ぜひ、この道路についても早期整備を望むんでありますが、私は、以前から言っております国道261号線の広島市部分、追い越し車線という話を以前したことがあります。前回いただいた答弁では、譲り車線ということで、前にトトロ走っている車が寄って、後ろの車が追い越していくというような場所をつくっていただくということを答弁いただきました。この計画、どういうスケジュールで整備がされていくのかという点を1点聞くのと。主要地方道千代田八千代線、安芸高田市境です。ここ1カ所、道がまだ未整備の区間がありますけども、この整備もやっていくという、測量も済んだというような話も聞きましたけども、事業計画の年度別か、どの範囲で、今進んでいるのか、完成年次の目標はというようなところで聞いてみたいと思うんですが、特に先般、千代田工業流通団地にまた広島アルミさんが創業されますけども、本当、また広島市から千代田の工業団地へ通勤される方増えてくると。都市計画マスタープランでも、主要地方道浜田八重可部線は、日量9000台とか、国道261号は日量六千数百台の車が通ると。特にこの車は通勤が多くて、通勤時間帯が主な交通量を占めるんじゃないかと思うんですが、そうした中で、国道261号の明神峠、この整備、追い越し、それと星が丘団地の入り口あたりの狭隘部分の譲り路線の整備状況、この2点について伺います。浜田八重可部線川井、通告はしておりませんが、これは今年完成するのかどうかということも含めてお聞きをいたします。以上です。

○議長（加計雅章） 建設課長。

○建設課長（砂田寿紀） それでは、まず、国道261号線の明神峠の部分でございますが、この路線は、特に商工会等からの改善の要望ということも常にいただいているところでございます。管理者は広島市ということでございまして、かねてから、改築の要望はさせていただいているわけでございますが、昨年度、先ほど議員おっしゃられました譲り路線ということで、設計をさせていただいております。今年度、その設計をもとに工事の実施をするというふうに報告はいただいております。それから主要地方道千代田八千代線の安芸高田市境の部分でございますが、昨年度は、道路線形の部分の見直しをしておる状況でございます。道路整備計画2016というのが本年度から5年間の計画であります。この道路整備計画にも当路線は位置づけられておまして、今後5年間のうちには完成の予定ということで公表されております。今年度は、事業再開に係る設計に着手するという報告を受けております。いずれにしましても、今後も早期完成ということで、西部建設事務所の安芸太田支所とは十分な連携を取りながら取り組んでまいりたいと思います。それから主要地方道の浜田八重可部線、現在川井地区の工事を執行しておりますが、これも今年度竣工の予定ということで、事業の説明は受けておるところでございます。以上でございます。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） やっていくと、また進めていくという答弁でございました。本当期待するものであります。広島中枢都市圏ということで、広島市と連携を図りながら、この地域一帯を活性化させようという場所もあります。広島市が協力して譲り路線をつくってやろうということであります。町長、その会のぞかれたら、松井市長へお礼を言うってください。よろしくお願ひします。交通量で、いろいろと道路整備なんかも恐らく出てくる、参考までに聞くんですが、交通センサスというのが、ちょっと私が知っているのは古いのしかないんですよ。最近の交通量がちょっと分らないんで、いつごろの計画にあるのかなというふうに思うんで、もし、いつごろあるかわかれば聞きたいと思います。若干違いますが、これまでも山口県なり島根県なんかへちょこちょこ出かけていくんですけども、本当こうした明神峠の峠があるような国道は、全てほとんど追い越し車線なり4車線されて、すごい道路整備が進んでるんです、島根、山口県は。広島県の道路整備は遅れとるなど、つくづく思うんであります。ここらあたりも含めて、この路線とは別途に、また町長にも県への働きかけを幹線道路についてはどんどん働きかけていただきたいなという、これは要望であります。先ほどのセンサスが、もし、いつごろ実施になるのかというのがわかれば教えてください。

○議長（加計雅章） 建設課長。

○建設課長（砂田寿紀） 次の交通センサスの調査がいつごろかというのはちょっとわかりませんが、現在公表されております最新では、平成22年の交通センサスの交通量が発表になっております。ちなみに、その発表になっておりますところで、現在の、先ほどの浜田八重可部線、これが12時間、朝の7時から夜の7時までの交通量で約1300台ということです。それから261号線になろうかと思いますが、これが約5500台ぐらいです。そういったような状況が今発表されております。浜田八重可部線の1300台ぐらいと申しましたのは、浜田八重可部線の土師の安芸高田市の境です。済みません、千代田八千代です。申しわけないです。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 今回の質問については、まず5年間のうちにはという話もいただきましたけれども、なるべく早い年度に完成して、ご存じのように、可部バイパスも開通して、随分上根を

通って、こちらへ通勤される方があります。ぜひこれも早急に整備が図られるように働きかけていただきたいなということでもあります。それでは3点目の質問に移りますが、観光振興対策で、芸北地域を西の軽井沢と、別に軽井沢じゃなくてもいいんですが、要は、平成20年に策定されました、質問しますけども、北広島町観光振興まちづくり計画、これちょっと古いんですが、観光振興を通じて、新たな北広島町づくりを進めるという考えが根底にございますけども、地域に住む者がそれぞれにある資源の価値をしっかりと認識する必要があるということがうたってございます。また、計画策定に当たっては、大変精力的な作業と意見交換がなされた。この取りまとめをされた先生がおっしゃっております。策定された計画は、定期的にその進捗状況、点検、評価するでございます。計画策定以来、計画の具体化、進捗状況の定期的な点検評価がされておるのかどうか、まず、お聞きをいたしてみます。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 北広島町観光振興まちづくり計画の定期的な点検がされているかどうかということにつきまして、商工観光課からご回答申し上げます。北広島町観光振興まちづくり計画は、町民の皆様を初め観光関係団体、事業者の皆様、町が一体となった観光振興を図るため、平成20年度を初年度とし、北広島町長期総合計画の目標年次でございます平成28年度の9年間で取り組む計画として策定いたしましたものでございます。観光資源の持続的・発展的な活用や、観光地としての底上げのため、先導的、中核的に取り組む必要のある事業を重点的に事業として取り組みを進めてきたものでございます。点検、評価につきましては、平成26年度に観光戦略方針を策定するに当たり、その前年に当たります平成25年度に役場担当部署、商工会、観光協会への該当部分の評価を依頼し、取りまとめを行っております。また定期的な点検と進捗の評価につきましては、各部署の事業として、事業年度ごとに行っております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 平成20年につくられた計画書ということですね。定期的に点検もいいんですが、もうちょっと時代のニーズに合わん計画書になっておるように拝見をいたします。それよりは、昨年つくられた北広島町の都市計画マスタープランのほうがまだ詳しいんじゃないかというふうに思います。古いからだめだと言うんじゃないありませんけども、きのうもいろいろ質問があったと思うんですが、行政そのものがいろいろ地域づくり、観光振興含めてなんです、町民を含めて計画をつくってという話もきのう随分ありました。地域特性を生かしてと、特に広い町なんですよね。今までの計画は北広島町全体を一括で、こんな町をつくりましょう、こういうことをやっていきましょうという謳い文句でほとんど計画書ができておる。去年できた都市計画マスタープラン、若干今度は踏み込んで、地域地域の芸北なら芸北地域、豊平なら豊平地域と掲げて地域づくりが謳ってあります。そういう地域づくりをやっていくべきかなという中で、きょうは特に、芸北を西の軽井沢にしようという話でありますので、芸北は芸北としての地域づくりを考えていかんと、千代田も豊平も大朝も一緒の中のその一つの芸北で地域づくりというのは難しいと思う。芸北行かせてもらおうと、特に八幡ですね。聖湖があって、その周辺にレストランみたいなのがあったりとか、別荘があったりとか、そこらで聞くと、何でこの八幡がいいんですかということ、まず、雪がいいという話も聞いたことがあります。ちょっとの雪じゃないですよ、たくさん雪ですね。雪も観光資源、ここらあたりですと迷惑雪がありますが、芸北行くと宝物の雪であります。また自然がいいということがいろいろあります。

あまり手を加えずに自然の中に行きたいんだという方が、この八幡には訪れられておるとい
話もちょこちょこ聞きます。実際にそこでレストランをやられたりとか、喫茶店をやられたり
という方々も、手の入らないこの地域がいいんだということで、いろいろ入ってこられてる。
別荘買う人もそうだそうです。そういう中で、もう少し芸北をピックアップして、観光振興の
拠点にならんものだろうか、前に総務常任委員会で、軽井沢じゃありませんけど、栃木県那
須塩原行ったことがあります。大きな施設があるんじゃないんですよ。個人個人が小さな、い
ろいろ知恵を出してお店をつくったり、資料館つくったりやっておられます。平日行ったん
ですが、平日はやっぱり人が少ない。土日にはどっと人が押し寄せてくると、それも全部東京圏
から。というような地域でありましたけども、そういう地域が北広島町にあつていいんじゃない
かと、これは涼しさ、寒いときもあります、涼しさ、宝物であります。冬のスキー、夏の
グラウンドゴルフ、いつも思うんでありますが、この前も質問で言いました。オークガーデン、
グラウンドゴルフ3コース、これを150コースぐらいできんかどうかと、2泊も3泊もせん
と全部回られんよと。コース間は、ゴルフ場にありますが乗用カートで次のコース行くとい
うような形、宿泊施設は民泊が幾らでもありますとかいうようなやり方とか、そういう形で、お客
さん入り込む。冬はスキー、やっぱり知名度で、減りかけたスキー客も増えてくるんじゃない
かと思ったりします。そういう受け皿を整備するというような方向をぜひやってもらいたん
ですが、以前、おられます芸北支所長が答弁されたことありますが、芸北で、町長の言われる支
所を拠点とした地域づくりということで取り組んでますということがありました。薪活という
取り組みがあります。これについては、私も取り組みを見させていただいたり、聞いたりして、
若干は知ってますが、今言ったように、雪と自然だけじゃなしに、芸北にリンゴとかカボス、
たくさんつくられたり、高原のキャベツとかいろいろありますけども、リンゴも市場へほとん
ど出ずに、ほとんどが、オーナー制度じゃないんですけども、お客さんがもう全て決まって、
そこではけるような状況があるようですけども、そういう形をどどんどどん増やしてい
って、芸北のファンを増やしてもらいたいというのがあります、この前、若干、芸北支所
でいろいろ協議会をつくって検討しているという話がありました。芸北支所長にお聞きをしますが、
その内容的にどういう内容があつて、協議会で協議され、芸北の発展に向けての支所を拠点
とした地域づくりというのを進行状況伺ってみたいと思います。

○議長（加計雅章） 芸北支所長。

○芸北支所長（成瀬哲彦） ご質問の芸北オークガーデン、グラウンドゴルフ場の拡充整備につ
いての協議その他につきまして、ご質問につきまして芸北支所のほうからお答えをさせていた
きます。先ほど来あります芸北オークガーデンにつきましては、芸北地域におけます観光情報
発信及び温泉宿泊交流施設としまして、県内はもちろん、広く皆様方にご周知されております。
この芸北オークガーデンを芸北地域の中核施設として、今後さらに発展させていくために、昨
年度から、芸北デザイン会議という組織を設立いたしまして、芸北オークガーデンから始まる
森の物語として、今後のオークガーデンの進む方向性を見出すための施策等について、また今
年度、整備計画に係る提言書の作成に向け、検討、協議を今重ねております。芸北の自然を守
って、また、自然を生かし、文化や営みを伝え、健康で明るい人を育て、情報発信の場所とし
ての取り組みを進めるために、町としても、この計画は大変重要だというふうに考えておりま
す。このような方針を踏まえまして、芸北地域の住民が中心となりまして、行政や他の団体と
の協働によりまして、芸北オークガーデンを中心とする地域の魅力を高める取り組みを進める

中で、先ほど来ありました西日本もしくは日本をアピールできるグラウンドゴルフ場の追加整備や芸北オークガーデン周辺での例えば散策道整備等、これらを活用したイベント企画など、芸北オークガーデンの受け入れ機能の強化についても検討しております。芸北オークガーデンの発展の可能性をもとに、観光及び農業振興、交流人口拡大等の発展を目指して、町も一緒になって考えてまいります。以上のようなことでございます。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） そして、支所を拠点とした地域づくりということで、いろいろ検討がされていると、計画づくりが行われているということでもあります。町長に聞いてみるんですが、こうやって地域で、支所を拠点としていろいろ計画づくりがされておると。これへどう応えていかれるのかと、ただ地域で話したよと、支所で話したよと、で終わっては大変だと思うんです。町長が柱に掲げられた、支所を拠点として地域づくり、先ほども言いましたが、この広い町、同じ地方で取り組むべきじゃない、やっぱり言われるように、支所を拠点として、地域特性を生かしてということがあろうと思うんです。そうした地域でいろいろ取り組まれておること、間にも情報が入っているかと思うんですが、全面的に支援していくという形になるのかどうか、あるいは、本庁へ持って帰って、また企画課のほうで再度検討しましょうという回答になるのか、そこらあたりをお聞かせをいただきたいと思います。

○議長（加計雅章） 町長。

○町長（箕野博司） 芸北のオークガーデンを中心に、周辺部を含めて、再開発をしていこうという大きな構想であります。今、支所長が申し上げましたように、いろいろと地域の方と一緒に協力を進めていただいております。町としても大いに期待をしておりますし、支所、あるいは農林課等も時には参加をさせていただいて、一緒に検討させてもらっているんだろうというふうに思っております。昨日もいろいろ出ましたけども、構想ができて、町へ全部やっってくださいというような形では、なかなか現実には前に進まない部分もあると思いますけども、協働のまちづくりを掲げる中で、地域でやっていただくこと、町が行うこと、いろいろ協力をしながら進めていきたいというふうに思いますし、議員の言われるように、芸北地域は非常に宝物というんですか、自然も豊富でありますし、いろんな意味で、まだまだ魅力がいっぱい、PRできる部分があるんだろうというふうに思っておりますので、今回のデザイン会議で進めていただいておりますけども、期待をしております。一緒になって進めてまいりたいと考えております。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 今言われたとおりと思うんですね、協働のまちづくりと。行政だけで引っ張っていく時代でもないし、地域の協力がないと、こういう取り組みはできないという思いを私も思っております。いろいろ質問、きょうはちょっと短い時間で済まそうと思っておりますが、ちょっと行政報告見てると、おもしろいのが電気自動車ですね。充電する場所ですね。充電器利用というので資料が載っておりました。あるのが舞ロードIC千代田とどんぐりとオークガーデン、台数を見ると、月に舞ロードのところで70台ぐらい、あとは10台前後ということがあります。特に芸北は、自然を大切にする地域なんで、オークガーデンで十分に電気自動車が走って、あそこでどんどんどん充電がされるような地域づくりを、PRの中にも、排ガスを出す車は来ないでくださいと、電気自動車で来てくださいと、そういうわけにはいかんかもわかりませんが、夏場になると、オークガーデンにどんどんどんそういう自動

車が充電をされているという地域づくり、やっぱりPRの中に必要だと思うんです。PRの中に、もう一つはサイン計画、サイン計画は、今さっきの観光計画では、平成21年ぐらいからサイン計画を進めるとあったんですが、随分おくれております。計画ができとっても実施がおくれとると。モデル地域をつくって進めていくというのもあったと思います。当面、本年度、八幡地域を一部やっていくという話が聞いております。ぜひ、パンフレットもいいんですが、カーナビであっちもこっちもわかるよという時代ではありますが、そこを通るときに、あっ、このサインを見て、ちょっと寄ってみようかというサインが必要だと思うんですが、カーナビでどこどこ行くんだというなら、案内看板がなかっても行けるんですが、ちょっと寄ってみようというようなサインをぜひ観光振興の冒頭に進めていただきたい。それに基づいて、いろいろ誘客対策を練っていくというのも大事だと思うんですが、サイン計画の、八幡をやると聞いたんですが、次は芸北地域やっていただくんかどうかわかりませんが、そこらあたりの計画をお聞きをしてみます。

○議長（加計雅章） 企画課長。

○企画課長（畑田正法） サイン計画の今後の予定でございますけども、今、おっしゃられました誘導看板ですけども、幹線道路、県道からの大きな誘導につきましては、県の事業として、今やっていただいておりますので、大きな誘導板については県で整備をしていただくと。それにあわせて、ある一定の区域をくくった部分について町が行っていくということでございます。この計画ですが、今おっしゃられましたように、今年度は八幡地区を行います。今後ですけども、この計画につきましては、地域づくりというふうな視点もありますので、地域づくりに向けての動きがある場所、それと、今お話にあります観光資源、観光スポットが一定のまとまりでくくれる地域、これをサイン整備の重点地区として今後整備に取り組んでいこうと思っております。具体には、どこからということは現在のところまだ決めてはおりませんが、このサイン整備の実施計画の中で、候補地として何点か上げております。具体には大朝新庄の商店街でありますとか、壬生古保利薬師地域の一体でありますとか、豊平の戦国の庭、歴史館の付近、あるいは、豊平の運動公園の一带地域、そこら辺を候補地として上げておりますので、その地域の方と随時お話をしながら今後進めていきたいと思っております。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 以前、北広島町の宝探しということで、お宝百選というのがあったかと思いましたが、やっぱりそういうサインには、これは宝になる、ちょっとのぞいてみたいというようなものは載せてあるのかどうか、今まであった看板をやりかえるだけなのか、そういう北広島町のお宝というような、ちょっと寄っていただきたいというような看板まで整備されるのかどうか、ちょっと聞いてみます。

○議長（加計雅章） 企画課長。

○企画課長（畑田正法） 看板の中身でございますけども、一定の仕様は、町として、色合いでありますとか、こういうものにしたいというものは示しておりますけども、あとは地域の方とお話をして、今もおっしゃられましたような、ここがここのお宝なんだとか、見てもらいたいところというふうなところもあろうかと思えます。そこは、まさに、その地域の方とお話をさせて、そういう看板設置も進めていきたいと思っております。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 最後にしたいと思っておりますけども、先般、広域農道が芸北から豊平まで開通

いたしました。観光周遊道路として、どんぐりから芸北のほうへ流れていただきたいというふうに思いますけども、この広域農道をマップの中に載せて、観光マップなんかできとるのかどうか、あるいはまた、これからどんどんそういう観光マップをつくっていくという計画があるのかどうか。それともう一つ聞きますけども、先ほど電気自動車の話しましたけども、やっぱり舞ロード行っても、あそこにスタンドがあるんですけども、町内にはここここありますよという案内も欲しいなと。どんぐり行けばあります、オークガーデンにもありますよと、途中で充電切れちゃいけないので、よう行かんという方がおられるかもわからん。でも、そういうのがあれば走っていかれるということもあるので、その看板もぜひ設置して、そういう案内をやるべきじゃないかなという思いがありますので、これはお願いであります。以上です。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 広域農道豊平芸北線の開通は、新たに周遊観光を広げるきっかけになると考えております。きたひろドライブ2014版から、開通予定として現在記載をさせていただいております。今年度発行いたします最新版には、完成後のルートに掲載することとしております。また、浜田市との広域観光連携事業として、6月1日から浜田北広島フォトラリーを実施しております。浜田道や国道のみならず、広域農道豊平芸北線を活用しての周遊コースとして活用いただきたいというふうに考えております。今年度においては、サイクリングマップ、それからツーリングマップの作成を行う予定としております。また、議員ご指摘のごさいましたEVの充電施設についても、そういったマップに記載をさせていただきたいというふうに思います。以上です。

○議長（加計雅章） 蔵升議員。

○13番（蔵升芳信） 以上で、質問は終わらせていただきますけども、冒頭にも言いました遊園地というのか、遊具設置等は本当、今生きている子供がおるんですよね。一生懸命、そういうものを求めておる子供たちが、保護者がいる。このことを念頭に置いて、早期に検討いただいて整備をぜひやっていただきたいということで、私の質問を終わります。以上です。

○議長（加計雅章） これで蔵升議員の質問を終わります。次に、10番、伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 10番、伊藤です。午前中になるか午後になるか、非常に微妙なところで、今回の質問は大綱2点について質問いたします。まず、最初に東京五輪文化プログラムの参加は。について質問いたします。2020年（平成32年）東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。この東京オリンピック・パラリンピック開催が決定して、国立競技場建設費の問題、エンブレムの盗用の問題、そして五輪誘致にかかわる賄賂等々の問題が発生、発覚し、また、主催都市である東京都の知事、前々知事ということになると思いますが、猪瀬直樹氏の徳州会から5000万円問題が発覚して辞職、そして昨日辞意を表明された、まだ知事ですので、舛添要一氏の一連のお金と政治の問題が発覚し、21日付をもって辞職という決定、遅きに失したという感じは否めませんが、こうした、ケチのつき過ぎた東京大会であります。しかしながら、私自身日本人として、この開催決定した以上、半世紀ぶりに開催されるスポーツの祭典が世界に誇れる大会になることを期待しているものであります。さて、この東京大会、そして前年開催されるラグビーワールドカップに向けて、文化庁が主体となり、平成27年文化プログラムの実施基本計画が発表されました。その概要は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、スポーツの祭典とともに文化の祭典として、史上最大規模の文化プログラムに取り組む。全国的に幅広い関係者と連携しながら、基本構想を具体

化、実施することを通して、全国津々浦々で魅力ある文化プログラムを展開し、国内外の人々を日本文化で魅了するというものであります。この文化プログラムに参加希望する市区町村は、現在、広島市、宇部市、京都市、横浜とか、約129都市に上ることが5月9日の中国新聞に掲載されていました。北広島町においても、伝統文化・芸術は代表的なユネスコの世界遺産である壬生の花田植、また神楽等、国、県の重要文化財が多くあり、そうした伝統文化を国内外に発信することにより、文化・芸術の振興、観光客誘致、若者定住、まちづくり等々、さまざまな分野に大きく貢献する千載一遇のチャンスではないでしょうか。誰もが認めるスポーツ・文化・芸術の町北広島町を目指して、文化プログラムに参加する考えはあるか、お尋ねいたします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） 東京五輪文化プログラムへの参加はにつきまして、生涯学習課からお答えいたします。文化プログラムは、事業を進める文化庁が昨年7月に基本構想、文化庁が出しました基本構想に、文化芸術立国実現のため、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019の機会を生かすとともに、それ以降も多様な文化・芸術活動の発展や文化財の着実な保存、活用を目指し、組織委員会などと連携して、2016年秋から、全国津々浦々で文化プログラムを推進とあります。3月、4月に実施された共同通信社アンケートでは具体的内容が不明であったため、本町は、「関心はあるが、取り組みを検討するまでには至っていない」と回答いたしております。組織委員会は、先週、平成28年度事業は、秋以降の事業実施に向け、8月から申請を受け付けると発表いたしました。その要綱に基づき、来年度以降の文化・芸術、観光関連事業等の実施に向け、関係課も交え、検討を進めてまいります。また、文化財に関しましては、文化庁が進める取り組みの一つに、日本遺産、文化・芸術による地域活性化に関する事業がございます。本町は、中世遺跡を核とした複数市町との連携による日本遺産の認定に向け、近々に連携市町との協議を開始することとなっております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 一応まだ決定してないので、参加、不参加はまだ未定というような答弁のように思いますが、研究する余地は十分あるんですよ。せっかくオールジャパンで異分野といいますか、いろんな分野から結集して、推進体制を組むという国の姿勢でありますので、そこに乗っかって、今やる必要がある。そうした中で、本町でもそうした関係各課、企画、商工観光課、教育委員会、それぞれあるわけですが、そうした合同会議、今から持たれるような答弁のように思えるわけですが、これぜひとも参加の方向に向かって、ただ、研究するだけでなく、早く、町民にも知らせるというような方法をとっていただきたい。まず、合同会議は持たれたかということを一応お聞きするわけですが、それはそこに置いて、邑南町ですね。邑南町は、昨日の新聞に、これとは違って、ホストタウン構想、東京オリンピック・パラリンピックに参加する外国の選手との住民の交流を促進するという事で、松江市がアイルランド、邑南町がフィンランドとの交流強化へ活動を始めた。以前、サッカーのワールドカップで、ある村が脚光を浴び、非常に自分もうらやましく思ったことがありますけども、こうしたことで、なぜ、こうした交流の決定されたかという、邑南町の町長は、これまで交流の実現がなかったので、見通しは厳しいと思っていたが、熱意が通じたというふうにいわれております。この熱意が非常に、今の答弁もすばらしい答弁だったように思うわけですが、心、熱意が非常に人

を動かす力があると思うわけです。そうした力を持った北広島町であってほしいと。だから、今からやろうとしている文化プログラムの参加についても、熱意を持って企画なりをつくっていただきたい。昨年度、地方創生、地方版総合戦略というのがありましたけど、私も一般質問しましたけど、熱意がほとんど感じられない、いわゆるマニュアルに北広島町を当てたというようなものに思えてしょうがなかった。今度は、半世紀に一度のオリンピックですから、来るか来ないかわからんけども、ぜひともそういった形で、東京オリンピックに参加していただきたいと思うわけで、先ほどの質問に答弁をよろしくお願いします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） まだ、その関係部署との会議というのは開催はしておりません。8月から開始ということで、その内容、要綱等もわかると思いますので、それに基づきまして、開催ができればというふうに思います。ちょっと本当に中身がわからないところですけども、文化庁20万件の文化プログラムをやるというふうに言っております。北広島町で行いますいろんな既存の事業等々、そういうふうな冠をつけるとかいうふうなことも恐らくできるんじゃないかと。この間決まりました市松模様のエンブレムではなくて、第2エンブレムを決めて、これは使用の基準を非常に下げて、どこにでも使ってもらえるようにするというふうなこともあります。そういうふうなものをに関して、今教育委員会で取り組んでおります、ふるさと夢プロジェクトは、教育委員会、生涯学習がやる事業には全てつけておりますけども、それに加えて東京オリンピックというふうな冠もつけるというふうなことも含めて、それから、そのための事業というのも可能であれば開催するという方向で関係課と協議していきたいと思います。以上でございます。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） まだ関係課との合同会議は持たれていないということなんですが、各課の姿勢としてお伺いするわけですが、答えられなければ答えなくてもいいとは言いませんけども、一応通告してないので、教育委員会の立場としては、今言われたように、教育、文化、芸術の振興という観点から、いろいろ考えておられるということですが、子供のふるさと教育、そうした面からも、ここを重要視しなくてはいけない点だと思うわけですが、改めて、この文化プログラムに参加する姿勢を持っておられるかどうか、するとは言い切れないと思うので、関心が大きいとあると、まあまあある、そういう三択ではないんですが、どう思われとるか、お尋ねします。

○議長（加計雅章） 町長。

○町長（箕野博司） 各課にまたがる案件でありますので、私のほうでお答えをさせていただいたというふうに思います。先ほど議員が言われたように、日本文化を世界に発信していこうというようなプロジェクトでありますので、日本を代表する稲作文化の伝統文化、伝統芸能、こういったものは本町にはあるわけありますから、しっかりPRできる機会があれば、PRをしてみたいと考えております。今後のインバウンドとか交流人口の拡大、そういったものにもつながっていくというふうに思っております。積極的に考えていきたいと思っております。ただ、まだ中身が詳細が決まってない部分もありますので、その辺も精査しながら進めてまいりたいと考えております。よろしくお願いします。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 詳細が決まってないというふうに町長言われるわけですが、その詳細は、

決まるのはいつごろになるのか答弁願うのと、先ほど生涯学習課長が言われたのは、8月ごろから、実施に向けてあるというふうに答弁されたんですが、8月いうと、もう2カ月ないわけですね。そこらいつ正式に、その詳細わかるんでしょうか。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） 28年度事業について、先週、組織委員会からの発表によりますと、28年度実施事業についての募集を8月から始めるというふうに発表されております。なので、そろそろそういった申請の要綱だとかが出てくるはずなんですけど、今のところ、ちょっとまだうちのほうでは把握をしておりません。以上でございます。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 把握してない事業に対して、5月9日の中国新聞ですが、横浜、愛知の豊橋、京都、広島、宇部、大分県別府、沖縄県糸満市とかが既に企画をつくっていらっしゃるという実例もあるわけなんです。北広島町は、まだ、その話し合いもしてないし、協議の段階には至ってないということなんで、その基本構想というのはインターネット調べればわかるわけで、こうした千載一遇のチャンスあるわけなんで、せっかく壬生の花田植、今から神楽が全国に伸びようかとしているというような北広島町ですので、決まってからよでなしに、積極性を持った活動も必要ではなかろうかというふうに考えるわけです。これ以上質問してもいい答弁は返ってこないというふうに思います。ですが、絶対に二の足を踏む要素は一つもないわけで、より積極的にどんどんどんどん関係、文化庁が責任の省庁になると思うわけですが、文化庁へでも働きかけて、他市町に先んじて、うちはこういう方向で、この文化プログラムに参加するんだというような姿勢を出していただきたい。安芸高田市もやるという方向で、企画を検討中というふうなのが中国新聞にも出とるわけなんで、安芸高田市がやるから北広島町でなしに、反対に北広島町はこういうことをやられる、すばらしいなといえるような企画をつくっていただきたい。以上でございます。答弁があれば、一応お伺いします。

○議長（加計雅章） 副町長。

○副町長（空田賢治） この5月9日の中国新聞の記事は、4月初旬に共同通信社のほうから、実は全国市町村宛にアンケートが来ておりまして、当町では、関心はあるが、取り組みを検討するまでには至っていないというふうに回答しております。そこで、もう取り組むとはっきり意思表示をされた団体について、構想とかの概要がまだ明らかでない部分も承知した上で回答されたところが新聞記事に載ったんだと思います。それで、今、文化プログラムの話もありましたけれども、東京オリンピックの開催が近づくにつれて、いやが応でも盛り上がってくるのは絶対確実だと思ってます。昨年度においては、ホームタウン、ホストシティタウン構想というのがありまして、これは事前合宿なんかを受け入れる市区町村はありますかという紹介等のものも全国町村会を通じて町にも来ております。その中で、広島県内においても、幾つかの市があらゆる協議についての事前合宿として誘致を上げられているという状況があります。邑南町につきましても、この新聞記事によりますと、ゴールボールというところの競技をやりたいというようなことになっております。ですから直接、文化プログラムに参加するとか、ホストシティタウンということに参加するかどうかは別として、少なくとも、事前合宿が県内に行われる、あるいはオバマ大統領が広島に来られて、広島に注目を浴びているということで、その近くにある北広島町に外国の方をお呼びするという絶好の機会であると思いますので、そういったことも含めまして、今後どういことが対応できるかというのを検討していきたいと思って

おります。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 副町長が答弁されたわけですが、非常に慎重姿勢もわからんではないんです。ただ、こうした施策・事業には勇み足というか、多少の勇み足はあってもいいんじゃないかと思うんですよ。人間がやることだから。ぜひとも、うちはとにかく参加するんだというような意思表示をしていただきたいと。先ほど町長が言われたホストタウン、これなんかも、前にも言ったことがあると思う。何で北広島町は誘致をできないのかというような質問をしたことがあると思うんですが、これなんかも、若者定住なんか考えたら、北広島町はどこにあるんかという人がいまだに多いわけですね。位置を知るにしても、北広島町を知る上においても、非常に好材料になるわけで、もっともっと前向きに取り組んでいただきたいというふうに思います。それでは次に、スポーツ施設の改修は、について質問いたします。町内にスポーツ施設はいろんな種目を含めてそれぞれあるわけですが、今回は、千代田公園の野球場と、それから大朝町民グラウンドのことについて質問いたします。昨年まで、昨年も今もですが、野球場はいろんな方、小学生も含め中学生、あるいは高校生、社会人等々が利用され、かなりの利用度があるわけで、野球の硬式野球でいいますと、高校野球の試合、あるいは練習試合、合宿等に使用されていましたが、今年の春、春季大会初めて高校野球の公式の試合が行われました。そのときにやっぱり集客能力がすごくあるわけですね。新庄高校がやったせいもあるんですけども、駐車場がすぐにいっぱいになるというような状況が生まれました。立地条件にも非常に恵まれて、広島からも近いし、各方面からも高速道路を利用するとたやすく来れるということがあるわけで、野球場の施設の改修は進めなくてはならないというふうに思います。まず、野球をここに見にいかれた方は相当数いらっしゃると思うわけですが、練習等は別として、公式試合のときにつくづく感じるのが、観客が多くなるというところで、バックネット裏、あそこに、皆さんご承知なんですけどくは言いませんけど、審判の控室、あるいは倉庫があると。一番一等地なわけですね、あそこの観客席としては。つくられたときに、どういう理由であそこへつくられたのかというのは私も承知しておりませんが、ぜひとも移転しなくてはならないと。それから高校野球の公式戦をやる場合、入場料取るわけですね。入場料取るのに、千代田の運動公園の野球場では入場料を取る場所がない。どこからでも入れる、我々は、どこからでも入れるけど、高校生がやるんだから600円払って入りますけども、そうしたところで、夏の大会の予選は千代田野球場ではしないというふうに決まっているそうです。そうしたことを含めると、まず、バックネット裏の移設と改修工事、それから、欲を言うならば、内野席をもうちょっと改良することは考えられないかお尋ねします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） 確かにバックネット裏に審判員席とか本部席とかいうものが入った建物がバックネット裏にございます。これらの施設の移転は、やはり結構多額な予算を伴うものでありますので、今のところは考えておりません。しかしながら、議員の言われるとおり、バックネット裏は、観覧場所としては格好の位置であります。主催者の了解があれば、当面はこの施設やバックネットとの間のスペースを開放し、観覧することというのは可能であるというふうに考えております。以上です。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） ただ、よその施設に比べると非常におもしろくないわけで、せつかく、そ

うした盛り上がりのある中で、フィールドというか、グラウンド内の広さは申し分なくいいわけなんです。せっかくだいい野球場なのに、どうしてあそこがああなのか、今のところ計画ないと言われますけど、ぜひとも計画にのせていただきたいというふうに思います。次に、1塁側の観客席のことですが、この前の公式戦でけがをされたと、ファウルボールは直にいくわけです、低いんですよ。それに逃げ場がないんですよ、普通の野球場に比べると。ぱっと盛り上がって、ネットが低過ぎるといいますか、真っすぐ、ファウルボール厳しいのが来たら普通の方は逃げられないというふうに思うわけです。練習試合とかいうのは、観客はいないので、別に問題はないんですが、これから、そうしたいろんな公式行事が入り出すと、そこら辺を考えていかないと、施設の責任者というか、誰なんかということも出てくると思うわけで、今ごろ、非常に品質のいいネットがあって、ネットが邪魔にならんようなものもあるそうなので、研究していただき、ぜひともそこら辺を張りかえとかいうことは考えられないか、お尋ねします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） ただいまの球が当たったということについては、済みません、ちょっと把握しておりませんでした、そういうことがあるようであれば、安全ということも考えて、そこら辺は検討していかないといけないというふうに思っております。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） ぜひとも検討していただきたいのと、早急にそうした施設整備はしていくべきだというふうに思います。それから、スコアボードの問題ですが、外野のバックスクリーンの横、皆さんご承知のように、昔は、ストライク、ボール、アウトだったわけですが、国際ルールにのっとりまして、今は、ボール、ストライク、アウトが決まっております。そんな中で、いまだにストライク、ボール、アウトの状態にあると。これはぜひとも変えないと不細工といえますか、まだ、そうなのかということ町内だけでなく、よそからいっぱい人が来られると、そういうことを言われるわけです。北広島町はスポーツに関心ないのかというふうに言われるので、それと、ヒット、エラー、それも含めて表示のできるスコアボードにかえることはできないか、お尋ねします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） そのスコアボードの表示につきましては、メジャーリーグのBSO表示、ボール、ストライク、アウトですね。このBSO表示が今国際慣習となっております、日本でもこれに倣い、BSO表示への変更が増えており、利用者からの指摘も時々はあるようでございます。しかし、毎年カープの2軍戦が行われる豊平運動公園の野球場もまだ変更しておりません。先ほどのバックネット裏の審判席等の建物の移転等々、今のところ、指定管理者のほうからも、特に要望もないということもありますし、教育委員会が抱えております体育関係施設改修が山積している現状であります。こういう中で、優先順位をつけて、少ない予算の中で順次やっていってるわけですが、今の状況から、たちまちスコアボードの改修というのは、優先順位は今のところ低いというふうに考えております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 3点改修してくれと言いましたけど、全てやる計画はないと。非常に残念ではありますが、ぜひとも優先順位云々も必要ですが、指定管理者と協議しながら、かえていただくことをお願い申し上げます。次に、大朝町民グラウンドのことですが、完成して20年経

過しました。その当時は、砂が飛ばない工法で全然問題なかったわけですが、今20年経過してサッカー部云々が非常に活発に使用し始め、グラウンドゴルフとかソフトボール大会とかが開催されるようになり、特に高校サッカーでは、市内の高校あたりが合宿、あるいは練習試合等で土日、祭日非常に多く使われます。それとまた高校選手権とか、それからユースリーグの会場にも指定され、使用されております。それと相まって、新庄高校の体育の授業も利用している。ほとんど休みなく利用されていて、非常に結構なことなのですが、天候にも左右されるわけですが、特に風の強い日、サッカーとかの試合をやつとると、もう粉じんが舞い上がるんですよ。下手すると、竜巻起きたんじゃないかというぐらい舞い上がると。近隣の民家の人方も、どんなですかと聞いて回ると、いや実は、これこれこうなんですよいうて、窓の棧、あそこあたりを指差しながら、これを言っははいけないと思って黙っつたんですがねというようにこともあつたり、まず、洗濯も干せない、それから窓をあけれられない、そんな状況下の中で暮らしていらっしやる。また町立の保育園、あるいは小学校が近くにはございます。こうした状況の打開策はないか、お尋ねします。グラウンド利用者は、年間延べ人数でいいますと、5万5685人ということが言われましたので、そこらを頭に入れて答弁お願いいたします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） 町民グラウンドでございますけども、議員おっしゃられますように、近年、グラウンドの利用が非常に多いと。そして、乾燥した風の強い日は砂じんが舞い、近隣に迷惑をおかけしている状況があるようです。指定管理者が新庄学園でございまして、指定管理者とも相談の上、何らかの対応ができないかは検討してまいりたいと思っております。ただ、サッカーで使用されている東側半面を人工芝にするとしますと、業者によっても違うんですけど、6000万から9000万の費用がかかるということでございます。これもちょっと、先ほど申し上げましたように、優先順位というところの中で検討しなくちゃいけないと思うんですけども、今のところ、すぐ人工芝の設置ということは、ちょっと難しいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 人工芝ということで、私もそういうふうに思っているわけですが、自然芝が一番体にいいのは、昨日の同僚議員の質問、答弁からもうかがえるわけですが、非常に管理が難しいということで人工芝というふうにならないかというふうに思うわけですが、市内の高校、何校かあるわけですが、既に人工芝に変えている高校が山陽高校、修道校、皆実、なぎさ高校、文教、それから瀬戸内とか、今、人工芝に変える高校が主流になっているわけです。それが、だからといって、あれは高校のグラウンドじゃないわけで、変えてくれというものもちょっとおかしいかとは思いますが、やっぱり今言われるように、指定管理者の学校と協議しながら変える方向でいかないと、千代田中学校あたりも利用し、社会人も利用してきとるわけで、年間通していうと相当の数が利用しております。地域の皆様方の生活の保障といえますか、生活のことも考えて、できることなら、前向きに計画を立てていただきたいというふうに考えるわけですが、もう一度答弁お願いします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） 議員おっしゃいましたように、市内の高校、学校等は、近隣住宅地の中にあるというところも多いということで、かなり人工芝にしているところが多いようございます。ご近所にご迷惑をおかけしているということもありますので、何らかの対策とい

うのはとっていかなくちゃいけないかなということはあるんですけども、これも非常に厳しい予算の中で優先順位を決めながらやっていくと。今現在、いろいろ改修というのが各施設から出てきますけども、これいろんな小口のものから大口のものまで含めて、総額でいくと毎年3億とか4億ぐらいのものになります。このような中で、じゃあどこを優先的にやっていくのかというところは議論していかなくちゃならないと思うんですけども、そういうふうな状況でございますので、すぐに、じゃあ人工芝化というふうなことにはなかなかならないのではないかとこのように考えております。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 期待できる答弁はいただけなかったわけですが、最後に、これももうあまり言っても、どうせ同じ答弁になると思うわけですが、夜間照明ですね。練習時間が短いとか、あるいは夕方からグラウンドゴルフがしたいとかというような要望もあったりして、そうした質問するわけですが、どのようにお考えか、お尋ねします。

○議長（加計雅章） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐々木直彦） 夜間照明につきましては、昨年度後半、指定管理をお願いしている新庄学園のほうから、サッカーゴールの後ろ側から4灯ほどつけたいということで、防球ネットの支柱につけてもいいかというふうなことがありましたので、これについては、強度を確認の上、4灯つけていただいたところでございます。あと学園としては、反対側のゴールのほうと、それから真ん中あたりにつければ、夜でも試合できるぐらいの明るさになるというふうな話はございます。防球ネットを利用して、今ごろのLEDで4灯とかつけるぐらいでしたら、そう大した額ではないので、これは、じゃあどこがつけるのかということになりますけども、グラウンドの真ん中に支柱を立ててということになると、それは結構な額がしますし、既存のポールで利用できれば、それが利用できるのであれば、それほどかからないんですが、そこらはちょっと検討しながら、学園とも話をしながら、予算の範囲の中で考えていければと思います。以上でございます。

○議長（加計雅章） 伊藤議員。

○10番（伊藤久幸） 最後になります。そうした照明設備、いろいろ話をされているようで、いいわけですが、ぜひとも早急にそうした施設整備をされることを願っております。以上で、質問を終わります。

○議長（加計雅章） これで伊藤議員の質問を終わります。暫時休憩をいたします。1時30分より再開をいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後 0時 18分 休憩

午後 1時 30分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（加計雅章） 休憩前に引き続き、一般質問を続けます。次に、14番、田村議員。

- 14番（田村忠紘） 田村忠紘でございます。病院問題について、何点かお伺いをいたします。さまざまな議論の末、4月からスタートいたしました豊平病院について質問をいたします。再出発してから、まだ2カ月しか経過しておりませんので、統計的には難しい面があると思いますが、わかる範囲で結構でありますので、答弁を求めます。まず、第1点目、新体制になってから、住民の評価であります、私の耳には、いい評判しか入ってきておりません。好評を含め、指摘事項や意見等、具体的にどのようなことが意見が寄せられておりますか、お伺いをいたします。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 住民の評価について、保健課からお答えをさせていただきます。4月から整形外科及び漢方内科が診療科目に新たに加わりました。漢方内科のある月曜日、整形外科のある水曜日、木曜日、金曜日の受診者が多い状況にあります。4月は、初診の患者が多かったため、問診や検査に時間がかかったり、リハビリの待ち時間が長くなっていた状況がありました。5月に入り、少しずつ待ち時間は短くなってきております。受診をされた方からは、病院に活気が出てきた、丁寧に診てもらえたといった言葉をいただいております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 今の答弁には、好評の部分しかありませんでしたが、ほかに指摘事項はありませんでしたか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 指摘事項についてですが、やはり4月、初診の患者さんが多かったため、待ち時間が少し長かったということで、午前中の診察が終わるのが2時、3時ということがあります。そのときにはやはり、ちょっと待つ時間が長いという指摘を受けたことがあります。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 当事者にはなかなかきつい言葉が言えないところがあるんですが、病院には、ご意見箱がありますかね。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） ご意見箱についてですが、ございます。ご意見箱の意見でございますか、特に、そういったことは意見箱には入っておりませんでした。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 次に、外来患者数が増加したというふうに聞いておりますが、数字的に示してください。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 外来患者数の数字について保健課からお答えさせていただきます。外来患者数ですが、4月の1カ月間の実人数が848人、延べ人数が1689人でした。5月の1カ月間の実人数は908人で、延べ人数が1801人でした。5月は、4月に比べ、実人数、延べ人数とも増えております。1日平均患者数を見ると、今年2月が68.7人、3月は70.3人、4月は84.5人、5月は97.1人です。1日平均外来患者数は、4月は3月に比べ14.2人増え、5月は4月に比べ12.6人増えております。5月に入り、1日外来患者数が100人を超える日も出てきております。以上でございます。

- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） この病院の計画段階で、3年間の目標人数を定めてあったと思うんですが、ちょっとそれと比較してどうかお知らせください。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 患者の数字についてお答えさせていただきます。年度収支計画で、28年度は1日外来患者数が77人を目標としておりました。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 次に、病床であります、病床の利用率はどうなっておりますでしょうか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 病床の利用率についてご回答させていただきます。病床の利用率ですが、4月の病床利用率は37.5%、5月は41.2%でした。今年28年2月の病床利用率は36.1%、3月は33.0%でしたので、少しずつ病床利用率も上がってきております。入院延べ患者数は、2月が460人、3月が450人、4月が495人、5月が562人となっております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 入院も徐々に増えてきておりますが、これは内科系統の入院患者が主体でしょうか。外科系統も入っておりますでしょうか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 入院患者と外来患者の内訳ですが、内科の患者さんもいらっしゃいますが、整形外科の患者さんもいらっしゃいます。指定管理者の法人で手術をされた方がリハビリを目的に豊平病院のほうに転院をされて、豊平病院で入院されて、リハビリをされているという方も増えてきております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 次に、収益のほうであります、入院と外来と収益をお願いいたします。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 入院収益と外来収益についてお答えをさせていただきます。指定管理者にお聞きしましたところ、診療報酬点数では、4月の入院収益102万669点、外来収益175万5290点で、合計277万5959点でした。28年今年3月に比べ、診療報酬点数で24万1292点増えておりました。5月については、入院収益と外来収益の診療報酬点数の合計が289万8944点で、4月に比べ、12万2985点増えておりました。診療報酬点数に10を掛けたものが診療報酬の収益となります。豊平病院の運営を軌道に乗せるためにも、まずは豊平病院を受診していただくこと、外来受診者を増やしていくことに指定管理者も努力をされております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） わかりました。次に、新体制になったら救急指定を受けるということを知っていましたが、いかがなっておりますでしょうか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 救急指定についてでございます。救急指定病院となるには、24時間365日、救急受け入れ体制をとっておかなければなりません。特に夜間の当直医師、看護師の体制が必要です。夜勤の看護師は、最低でも3人以上の配置が必要となっております。現状

では、医師、看護師の体制がまだ十分整っていないため、救急指定病院の届け出は取り下げしております。救急指定を受けられる医師、看護師の体制が整いましたら、指定管理者に対し、町としても救急指定医療機関の再開をお願いしてまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） 体制が整っていないから、いまだ救急指定は受けてないということですが、それでは見通しについてお伺いしますが、まず、医師のほうの見通しについてお伺いします。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） 医師の見通しについてでございます。町としても、救急医療含め、診療体制の充実のためには常勤医師について指定管理者のほうにもお願いをしております。指定管理者も常勤医師の確保に向けて努力をされております。引き続き、常勤医師並びに当直医師が充実できるように、町としても一緒になってご支援させていただいて、できるだけ早いうちに体制が整うよう取り組んでいこうと思っております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） 次に、看護師であります。スタートから早速3名の退職者があったというふう聞いております。これは現在どのような状況下にあるか、お願いします。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） 看護師の体制についてでございますが、3月31日、おっしゃったように常勤看護師が辞めましたが、今現在、6月1日現在でございますが、病棟の看護師が13人、外来が9人でやっております。合計22人の看護師の体制で、外来及び入院の診療のほうの看護師体制としてやっておりますが、やはり夜勤をするときには3人体制の状況がとれない状態ですので、もう少し看護師のほうで充足できるように、今、指定管理者ともども看護師の確保に向けて取り組んでいるところでございます。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） 充足率がちょっと分らないんですが、目標は何名を思っておられて、現在22名、これで今の夜間を除いて大体充足しておるかどうかということをお伺いします。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） 充足率、率というのは、申し訳ございません、出していないんですが、指定管理者のほうにお聞きしたところ、何とか外来と入院のほうは今の人数では回っているんですが、例えば看護師のほうで急遽休みをとるとか、そういったことになったときの看護師の、そこにカバー入る看護師がまだ不足しているということで、28年3月末でやめた人数分4人程度の確保が要るのではないかとことを指定管理者からはお聞きしているところでございますが、確実な数字については、また後で回答させていただけたらと思います。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） 看護師の募集については、今度は管理者のほうでやるようになるんですか。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） 看護師の採用については、おっしゃるとおり、指定管理者が今度は雇用という形をとる予定になっております。以上でございます。

- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 次に、手術の実績についてお伺いいたしますが、まだ、実績としてはないでしょうか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 手術の実績でございますが、豊平病院での手術の実績は4月はございません。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 手術がまだないということは、そういう患者さんがおられなかったか、あるいは、施設、設備が十分でなかったかということですが、どうでしょうか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 手術の実績がなかったということに関してですが、実を言いますと、手術室のほうは整形外科ができる手術室が整っていなかったというのが、このたび指定管理者と専門業者が確認していただいたところ、そうした状況というのがわかりました。そのため、現在は、豊平病院での手術はできていないというのが実態でございます。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 手術に整形外科として絶対必要なのはMRIだということをお聞きしたんですが、何か導入されるということですが、買うのかリースか、それと、金額は幾らかということをお聞きします。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） MRIについてお答えさせていただきます。4月1日以降、指定管理者が外来診療する中で、予想していた以上にひざ関節などの関節の痛みや、不具合で受診される方が多いこと、また、そのうち約8割の方が手術の適用の方とわかりました。指定管理者とも協議し、費用対効果、今後の安定した経営や安心した医療を提供する上で、迅速で正確な診断をすること、診断の精度を上げ、医療事故を防ぐためにも手や足、ひざなどを撮影するMRIの導入が必要と判断し、MRIの導入の予定について、本会でお願いしているところでございます。きちんとした日々の医療を提供することが地域医療を守ることにつながるため、指定管理者も真摯に取り組んでおられます。MRIについては、リースでの導入を予定させていただいております。金額については、28年度の予算、今回上げさせていただいている予算を述べさせていただきます。今回、MRIのリースの導入にかかわる委託料としては893万7000円を予定として上げさせていただいております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 28年度が893万円ということであります。そうして、体制スタート前の業者の話し合いでは、28・29・30年、3年間の医療機器の賃借料というものを定めておりますが、それと今回の関係はどうなっておりますでしょうか。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 3年間の賃借料についてお答えさせていただきます。今年度の当初予算では905万円を賃借料として計上させていただいて、3月議会で可決させていただいております。今回、MRIを導入するに当たりまして、改めまして、指定管理者との協議の中で、指定管理者に医療機器を改めて精査していただきました。精査していただいた中で、905万を充てさせていただいてはいたしましたが、すぐに必要なものというか、どうしてもMRIがまずは一

番ということを優先に上げさせていただいて、その中で、905万の中をもう一度精査していただいたときに、484万7000円分のリースを機種とか改めさせていただいて、減額させていただいております。来年度以降については、今年度の収益を見ながら指定管理者、あわせて町とも協議をする中で、年度3年間の計画の予算を見ながら協議をしていく予定でおります。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） もう一度お聞きしますが、28年度の賃借料を見ておられたのは905万円を見ておられましたですね。それで今回、新たに思いもしないMRIが出てきて、これ、28年度分が893万何がしというものが必要になってきました。そうすると、28年度に予定しておりました905万円というものは、これに全部つぎ込んでしまうということでしょうか。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） 905万につぎ込むかということですね。905万の中を改めて精査していただいて、その医療機器、リース代金を改めて精査した中で、先ほど申しましたように、484万円分を減額させていただきました。MRIの導入に関しては、改めて今回、補正予算として計上させていただいている金額でございます。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） よくわかりました。そういたしますと、28年度分で905万から483万引いたものが今年度の賃借料になるということではありますが、大体それで体制が整うんでありましょか。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） 申し訳ございません。905万があります。そこから精査して484万円が減額となりましたので、残りの四百何万は残っております。プラスMRIとして893万円を入れさせていただいたということです。足していただけたらと思います。1300万ぐらいになります、賃借料として。医療機器のほうの整備は、それでいいかということですが、指定管理者ともご相談させていただいて、本年度はこれで大丈夫ということをご返事をいただいております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） 誤解をしておりました。済みませんでした。それはそれとして、お医者さんとしては、この医療機器、ほかなことも思っておられたんじゃないか、MRIを除けたものも思っておられたんじゃないかと思いますが、一つ心配なのは、これによって、MRIを入れたことによって、医療機器がまだ不十分だということが心配なわけですが、そこは専門家が判断されたことでありましょから、これ以上は言わないことにいたします。現在までに機器の手当てを、リース含めて、そのほかでされたものありましょか。

○議長（加計雅章） 保健課長。

○保健課長（福田さちえ） ほかのリースについてでございますが、本年度計画分の医療機器については、先ほどから申ししておりましたように、4月、5月の診療状況から精査いただき、必要な機器を7月以降リースで導入する予定でございます。以上でございます。

○議長（加計雅章） 田村議員。

○14番（田村忠紘） 次は、山県郡の医師会にどうだろうかという心配をしておったわけですが、現在どのようになっていますでしょうか。

- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 山県郡医師会への加入についてでございますが、山県郡医師会へは指定管理者が会員になり、5月に開催の山県郡医師会の総会に出席されております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 最後に、これ通告をしておりますでしたが、いただいた資料の中に入っておりますので質問させていただきますが、患者さんの地域別についてであります。豊平がほとんどでありましたが、そのほかが少しずつありましたが、わかれば、そのことをお知らせをいただきたいと思っております。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 地域別の患者の割合でございますが、議員がおっしゃったように、豊平地域の患者さんが約9割でございます。残りが千代田、大朝、芸北、あとは安佐北といった広島市内からの患者さんも来ていらっしゃいます。以上でございます。
- 議長（加計雅章） 田村議員。
- 14番（田村忠紘） 限られた短期間での体制の変更でありましたので、非常に心配をしたところではありますが、幸いに全体的にスムーズなスタートであったと思われまます。地域の住民の皆さんは、再び医療体制が整ったことへの喜びと安心で非常に感謝をしております。今後は、地域のみならず、周辺を含めての医療拠点として末永く続いていくことを願い、質問を終わります。
- 議長（加計雅章） 保健課長。
- 保健課長（福田さちえ） 先ほどのご回答で、救急指定を再開するためには看護師が最低何人要るかということのご質問に対してお答えさせていただきます。現在、13対1の一般病棟としての看護師の体制は充足しておりますが、救急指定を再開するためには、最低5人の看護師が必要と考えております。以上でございます。
- 議長（加計雅章） これで田村議員の質問を終わります。
- 次に、3番、久茂谷議員。
- 3番（久茂谷美保之） 6月定例会最後の一般質問となりました。3番、久茂谷です。おいでよ！キタひろ、について質問させていただきますが、その前に、すばらしいというか、すごい情報が入りましたので、1点提供、皆様方にお知らせをしたいと思っておりますが、5月26日と27日に開催をされました伊勢・志摩サミットがございました。第42回先進国首脳会議でございますが、詳しくはまたホームページをご覧くださいということで、この3名の方がサミットの料理をつくられたわけですが、日本料理を担当された料理長、北広島町芸北中祖の出身の茅ヶ迫正治氏、都ホテル、大阪等々に勤められて、志摩観光ホテル和食料理長、総料理長を兼務という、そういった関係で、このサミットの日本食のほうの担当をされたという情報が入りました。実は私の同級生でもありまして、すごく頑張ったなというふうに思っております。詳しくは外務省ホームページで、料理人紹介等々、ここ見ていただければと思います。以上でございます。それでは質問に入らせていただきたいと思っておりますが、4月10日から、RCCラジオのショコラジの中で、12時30分ごろからでございますが、おいでよ！キタひろ、というコーナーが放送されております。そのことについて少し質問させていただきたいと思っておりますが、北広島町の魅力を発信されておるわけでございますが、早速4月10日は箕野町長が出演され

て、我が町のPRをされたというふうに聞いておるわけでございます。質問の順序を少し変えさせていただきたいと思いますが、まず、この、おいでよ！キタひろ、これの目的といいますか、あわせて経緯、どういういきさつで、こういった放送の取り組みになったのかお伺いしたいと思います。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 商工観光課から、ショコラジの目的及び経緯についてご説明申し上げます。当該ラジオ番組は、若い女性をターゲットにした番組でございます。放送エリアが県内全域及び隣接する県において聴取可能であることなど、当町の観光戦略指針に合致していることから、電波を通じて、当町の魅力、多様な観光資源を情報発信し、町の知名度及びイメージの向上を図り、交流人口の拡大につなげていくことを目的としております。経緯につきましては、当初、平成26年に策定いたしました観光戦略方針の中で、広島市を中心とした広域都市圏をターゲットエリアとし、ターゲットを活動的な女性として、北広島町の自然、伝統、料理、それらを四季折々に見て、食べて、体験していただくことを誘客の指針として戦略方針で定めておりますので、当該ラジオ番組については、先ほど申し上げましたけども、女性をターゲットにした情報誌と連携した番組であることから、戦略方針に合致しているということ有効であると判断し、情報発信させていただくことといたしました。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） すばらしいことですね。女性をターゲットにして北広島の情報発信するという、ショコラジですから、チョコレート、甘い関係、チョコレートとラジオ、いわゆるそういった女性をターゲットにしたというところから来ているようにも聞いておりますが、目的は、今お伺いしたところで、町長出演されて、どういうふうな思いで、これから、もうメンバーは変わっていつているわけですが、最初出演されての思いというのをもう一度聞かせていただきたいと思います。

○議長（加計雅章） 町長。

○町長（箕野博司） 目的等は、今、担当課のほうから申させていただいたところでありますが、北広島町では、いろんな資源、あるいはいろんなイベントが豊富にあるというふうに思っております。なかなか、そうしたことを皆さんに知っていただけないという現実もあるので、限られた時間ではありますが、広く知っていただいて、北広島町に多くの方に来ていただきたいというところから、こうした取り組みをしております。毎週基本的に日曜日12時半からということで、そのイベント等が近い部分を紹介をさせていただくことができるので、これを有効に活用して、北広島町をどんどん紹介をしていきたい、PRしていきたいと考えております。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） じゃあ次の質問で、経費といいますか、費用、こういったRCCとの契約というか、そういうところで、日程についてはどういうふうになっておりますでしょうか。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 当該事業については、北広島観光プロモーション事業として実施をしております。委託費は432万円で、北広島観光プロモーション実行委員会補助金の中で費用を負担しております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） それでは出演者等々の出張というか、そういう費用弁償、それも、そち

らのほうから出るというふうに理解すればいいんでしょうか。それからもう1点、その中で、RCCラジオにも出さないといけないんだらうと思うんですが、出さないでいいのか、その辺の負担、RCCラジオに対しての負担はあるのかなのか、2点についてお伺いします。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 出演していただく方への費用弁償ですけども、交通費の実費、それから日当をお支払いをさせていただいております。また、その際の1回ごとの費用については、RCCへの支払いはしておりません。年間契約でございます。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） ちなみに年間契約幾らでしょうか。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 432万円の委託料でございます。年間40回の回数で、そのほかにスポットCMが20秒のもの3種類、これが30本セットになったものでございます。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） それじゃあ、観光プロモーションの全ての先ほど答弁された432万、それが全てその契約ということでもいいということですね。はい、分かりました。約2カ月、3カ月がたとうとしておるわけでございますが、効果、すぐには出ないと思えますけれども、何かこういったところが変わってきたよとか、先ほど、女性ということが話に出ましたけれども、その辺の何か効果的なものがあるのかなのか、あれば、その辺をお示しいただきたいと思えます。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 効果についてでございますけども、日曜日のお昼の番組ということで、ドライブに出かけている方、広島市内では、FM放送のクリアな音源で番組を聞くことができることから、家でのんびりと過ごされている方など、そういった方への情報の伝達、そして、プロ野球中継の番組の前ということで、性別、年齢を超えた多くの方へのPR効果があると考えております。今後は、観光キャラバン会場などでアンケート調査を実施するなどの効果測定を行ってまいりたいというふうに考えております。以上です。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） 先ほど町長のほうから、イベントのPRということも話が出たわけで、早速に5月でしたか、壬生の花田植の関係のほうへもあったわけで、その辺の実際の今、沼田係長の答弁はわかるわけ、それ全体のことであって、ただ、こちらの北広島町にこういう方が聞いてきたよとか、若干女性の人が増えたようなとか、道の駅のほうもちょっと訪れる方が増えたよとか、そういうふうな状況があれば、すぐに効果がというふうに思うんですけども、そういったところがあれば、お話いただければと思います。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） ラジオの即効性といいますか、そういったものなんですけども、それを聞いてきたよという方は、耳にしております。そういった方がいらっしゃるというふうなことはお聞きしております。従って、効果的にはあるというふうに考えております。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） 先ほど答弁の中で、いつごろまでという質問になるんですけども、40週

ですから、来年の3月ぐらいまでになるのでしょうか、かなり上手にいけば、432万以上の効果が生まれるというふうにも私も思うわけですが、一応いつになるのか、3月のいつ、その辺数えていけば40回、それはそれでいいです。一応北広島町とのが終わったということになれば、また次の他の町が行われるのかなというふうにも思うんですが、そういったところがわかれば。それから、先ほど紹介ですよ、イベント中心とか、いろいろとあるわけなんです、芸北の地域もちょっと紹介されました。こういったものは、北広島町全域の紹介というふうになったり、団体というふうになったり、いろいろとあると思うんですが、もちろん全域を考えておられると思うんですが、その辺の点はどういうふうになっておりますでしょうか。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） まず、いつまでかということですが、一応3月の末まで放送を予定しております。40週といたしても、やはり年末年始、そういったところがございますので、そういったところを除いて40週という形になります。それから、町内全域、北広島町内には多様な観光資源がございますので、そういった魅力的な観光資源を広く発信をしていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） 私が耳にしなくなったのか、ちょっとわかりませんが、最初は、町長の、出られますというふうなきたひろの音声告知もあったんですが、随時されておるとは思うんですが、毎週、週末にかけて。一応確認のため、その周知というか、そういったところについてお伺いします。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 番組の周知をどうしているかという質問でございますけども、放送日の前日の夜及び前日の朝、きたひろネット告知放送及び防災行政無線等で告知をさせていただいております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） そうですね。地元の我々町民もしっかりとそういったところを把握していかないといけない。私も、その後聞いてないもので大変失礼をいたしました。今後もまた楽しみにしていきたいと思っております。3月末までの放送ということで、大体、出演の方の予定というのは、ほぼ決まっているものなのか、どの程度まではやっているのか、その辺のことお願いします。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 年間の計画でございますけども、全体計画は持っております。それで出演については、1カ月程度先までを確定をさせていただいております。以上です。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） 分かりました。雑誌ウイंकとRCCラジオとのコラボによるこの番組のショコラジ、そのウイंकの中に、北広島町の紹介とかPR、そういったものはあるのか。このウイंकという雑誌の販売されている範囲、広島県内だろうとは思いますが、その点についてお伺いいたします。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 雑誌ウイंकとのコラボについてご説明申し上げます。

雑誌ウイंकは、年間3回、計6ページを計画をしております。北広島町をPRする記事型の広告を出稿する予定でございます。また、毎月発行されるウイंक内のショコラジのページにも出演情報を掲載をさせていただいております。販売範囲につきましては、広島県西部エリアの書店、コンビニで4万部販売されております。また、閲覧用として、銀行、図書館、美容室等にも提供されております。以上でございます。

○議長（加計雅章） 久茂谷議員。

○3番（久茂谷美保之） この番組を通じて、約1年ですから、北広島町がますます観光PR、そして訪れるお客様が増える、その辺のやはり四百数十万かけるわけですから、そういったデータであり、また、先ほどの観光関係の質問もありましたように、きっとやはり、そういう皆さんが目を配り、あるいは各課が情報交換をしながら、どういう状況であるというものをやはりしっかりと把握すべきだと私は思います。ただ、こういう状況でやりただけじゃなくして、効果、いつも言っている、費用対効果というものを精査する。しっかりと町長、もう一度出る時があれば、そういったところをしっかりとまた本町のPRをさせていただいて、観光の発展につながるよう、私は望むところでございます。答弁があれば、それを求めて、私の一般質問終わらせていただきます。

○議長（加計雅章） 商工観光課長補佐。

○商工観光課長補佐（沼田真路） 効果につきましては、先ほど申し上げましたとおり、キャラバン等々で実際にお聞きになったかどうかをアンケートを実施して、効果測定をしてまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（加計雅章） これで久茂谷議員の質問を終わります。以上で一般質問を終わります。本日の日程は全部終了いたしました。これで散会をいたします。次の本会議は21日、審議、採決となっておりますので、よろしくお願いをいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後 2時 26分 散会

~~~~~ ○ ~~~~~